



竹富町球技大会 ソフトバレーボール競技規則

第1条 適用規則

大会当日の6人制バレーボール競技規則を適用する。ただし、以下に定める特別規則を優先して適用する。

第2条 コート

- (1) コートはバドミントンコートの外側ラインを使用する。
- (2) ネットの高さは2メートルとする。

第3条 チーム編成

- (1) 4人制とし、登録は10名までとする。
- (2) 登録が10名未満の場合は、少ない方の人数に合わせたローテーションも可とする。
- (3) ユニフォームを統一すること。
- (4) 体育館シューズを着用すること。裸足での出場は認めない。

第4条 試合形式

- (1) 試合は予選リーグ・決勝トーナメントとする。
- (2) 3セットマッチとし、2セットを先取したチームの勝利とする。

第5条 得点・セット

- (1) 得点はラリーポイント制とする。
- (2) 各セットは13点先取で勝利とする。
- (3) 12対12になった場合はデュースになり、その後2点勝ち越したチームがセットの勝者となる。
- (4) ただし、得点は最高15点で打ち切りとし、1点差であっても15点を先取したチームが勝者となる。

第6条 サービス

- (1) サービスはアンダーハンドサーブとする。
- (2) サービスは1回のみとし、やり直しは認めない。
- (3) サービスがネットに触れた場合はサービス失敗となり、相手の得点となる。
- (4) サービスを打つ瞬間までは、両チームの競技者は前衛・後衛の位置関係が明確に判別できる状態でなければならない。サービス後はフリーポジションとなる。

第7条 ローテーション・コート内配置

- (1) 10名ローテーションを適用する。
- (2) ローテーションによりコートに入る場合は、バックライトポジションから入るものとする。
- (3) サービスはバックライトの位置にいる競技者が行う。
- (4) コートチェンジの際は、ローテーションは前回の続きから行う。
- (5) サービス前のコート内における4名の配置は、ネット側に前衛2名、サービス側に後衛2名が位置し、前衛・後衛の位置関係が明確に判別できる状態であること。配置の形（正方形・ひし形等）は問わない。なお、バックライトの選手がサービスを行う。
- (6) フリーポジションへの移行は、サービスを行う競技者がボールに触れた時点とする。

第8条 プレールール

- (1) ボールは3回以内で相手コートに返すこと。
- (2) 相手のサービスを1回の打球で相手コートに返してはいけない。ただし、ラリー中のプレーにおいては1回で返しても問題ない。
- (3) ブロックによるボールの接触は打球回数に数えない。

第9条 コートチェンジ・サービス権

- (1) コートはセットごとに交換する。
- (2) 第2セット開始のサービスは、第1セット開始時にサービスを行わなかったチームが行う。
- (3) 第3セットは、再度じゃんけんにてサービスかコートを選択する。
- (4) 第3セットは、いずれかのチームが7点を先取した時点でコートチェンジを行う。このときサービス権は移行しない。

第10条 じゃんけん

- (1) ゲーム前に代表者でじゃんけんを行い、勝ったチームがサービスかコートのいずれかを選択する。

第11条 タイムアウト・給水タイム

- (1) タイムアウトは各セットにおいて、各チーム1回ずつ取得できる。
- (2) 熱中症防止のため、各セットいずれかのチームが7点を先取した時点で30秒の給水タイムを設ける。
- (3) 第3セットにおいては、7点先取時にコートチェンジを行うため、コートチェンジ後に給水タイムを設ける。

第12条 予選ブロック順位決定方式

予選ブロックの順位は、以下の順で決定する。

- ①勝利数(多い方が上位) ②セット率(総得セット÷総失セット) ③得点率(総得点÷総失点)

第13条 その他

ルール変更・中止・勝敗その他については、審判長および大会役員の協議で決定する。

第14条 大会役員・審判配置

大会の円滑な運営のため、各試合において以下のとおり役員および審判を配置する。

- (1) 主審
 - ・八重山ママさんバレーボール連盟が担当する。
- (2) 副審および得点板
 - ・町職員が担当する。各コートにつき2名以上3名以内を配置する。
- (3) 線審
 - ・各公民館の割り当てにより担当する。
 - ただし、準決勝は予選リーグ敗退チームが担当し、決勝は町職員が担当する。
- (4) 本部(スコア記録・アナウンス)
 - ・町職員1名以上を配置し、スコアの記録および場内アナウンスを担当する。